

# 出前授業による地域への国有林のPRについて

南信森林管理署 森林ふれあい係長 ○ なかむら 中村 しんぺい 信平  
上村森林官 ○ なんざか 南坂 ひろかず 博和

## 要旨

本年度の南信森林管理署での出前授業の実施報告と、地域への国有林のPRとして作成した外部PR用教材の紹介をします。

## はじめに

担当区事務所から森林事務所へ名称変更を行ってから16年が経過しましたが、地域では未だに「営林署の担当区さん」の方がなじみが深く、時々「森林組合ですか？」との問い合わせもあります。そんな中、森林事務所は「国有林の地域の窓口」として、開かれた「国民の森」としての国有林の役割や森林・林業の大切さ等をPRしてきました。

南信森林管理署では地域の小中学校等を対象に「出前授業」に取り組んでいますが、その中で「国有林ってなに？」「森林事務所ってなにをしているの？」「森林官ってなに？」と言った質問がよく出されます。このようなことから、さらなる地域への国有林のPRが必要であると考えます。

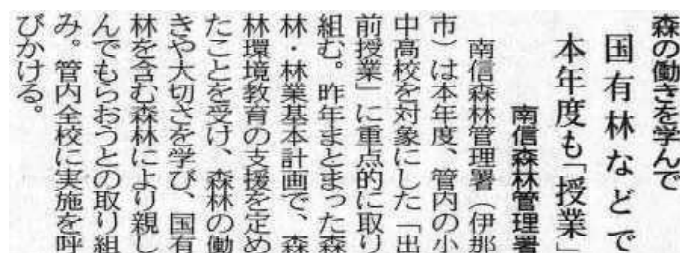
## 1 出前授業実施に至るまでの取り組みについて

まず最初に、地域への国有林のPRに何か良い方法はないかと考えました。その結果、地域住民が多く集まり、情報交換も多く行われる学校に目をつけました。総合的学習の時間や環境問題等への関心が高まっていることから、出前授業によるPRが一番良いのでは、という結論に達しました。

そこで、成18年12月頃から地域の小中学校等に出前授業の実施の呼びかけをしました。

そして、学校側担当者と打合わせをして実施内容等を決定し、出前授業を実施しました。

南信森林管理署の出前授業の取り組みは、新聞記事にも取り上げられました。(記事-1)



記事-1

## 2、出前授業の実施状況について

### (1) 森林事務所の概要

南信森林管理署には12の森林事務所があります。

- ・下諏訪
- ・駒ヶ根
- ・豊丘
- ・和田
- ・上村
- ・黒河内
- ・伊那里
- ・伊那
- ・横川
- ・諏訪南
- ・大鹿
- ・阿智

## (2) 出前授業の対象者の内訳

地域の小中学校等や飯伊地区みどりの少年団、地域のイベントなどで出前授業を合計47回実施しました。

- ・小学生 (31回 1,720名)
- ・中学生 (2回 19名)
- ・高校生 (9回 118名)
- ・一般市民 (5回 360名) など合計 約2,200名に実施しました。

## (3) 出前授業の事例

### ア 地域の小学校(飯田市の和田小学校、上村小学校)の出前授業

国土交通省遠山川砂防出張所と共催しました。砂防出張所が砂防見学会を行った後、森林事務所職員により枝打ち等の体験林業を行いました。(写真-1, 2)



写真-1 枝打ち



写真-2 森林教室

### イ 飯伊地区みどりの少年団交流集会

下伊那郡清内路村ふるさと自然園にて下伊那地方事務所林務課、清内路村、下伊那山林協会と共催で木工教室を行いました。(写真-3, 4)



写真-3 みどりの少年団の活動発表



写真-4 木工教室

ウ 地域のイベント

地域からの依頼により公民館活動や地域の祭り等への協力、登山ガイドなどを行いました。(写真-5, 6)



写真-5 登山ガイド



写真-6 公民館活動の木工教室

(4) 出前授業で苦勞した事

- ア 担当者の異動があり打合せに苦勞した（これは打合せ時期が年度を跨ぐため、人事異動があったことが原因でした）。
- イ 出前授業で何をしてもらえるのかわからない（これは呼びかけ段階においてプログラム例や過去の資料等がないことが原因でした）。
- ウ その他の苦勞した事として、森林事務所に必要な道具が揃っていない。
- エ 地域環境（素材）を活かした出前授業にしなければならない。
- オ 森林組合に間違えられることが多い。

(5) 出前授業の反響

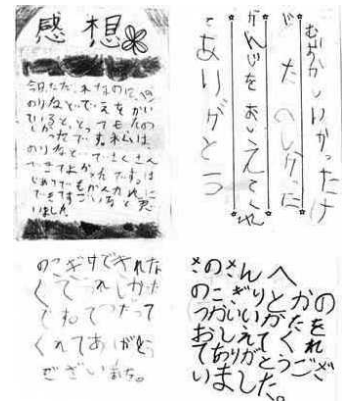
出前授業は地域でも話題となり、新聞記事にも取り上げられました。また、実施した学校からは感想文などが送られてきました。(記事-2, 3) (感想文)



記事-2



記事-3



感想文

### 3、さらなる地域への国有林のPRについて

出前授業を実施して気づいた事ですが、国有林のことについて地域住民にあまり知られていない、認知度が低いことがわかりました。このことから、さらなる地域への国有林のPRに何か良い方法はないかと考えました。

森林官会議で『パワーポイントを活用し「森林事務所森林官」を紹介する「森林官の仕事」という教材を作成したらどうか。そして、出前授業などで地域住民等へのPRに活用したらどうか。』という意見がありました。そこで、森林官が中心となって教材を作成することにしました。

教材の作成にあたり、「森林官の業務をできるだけ広範囲に紹介すること」「あまり専門的にならないこと」「一般の人に解り易いこと」これらの3点について心掛けました。

また、管内全森林事務所から、日常業務などの資料を提出してもらいました。また、「みんなの森林、国有林」「南信森林管理署管内概要」などのパンフレットや「森林官の実務ガイド」等も参考にしました。

### 4、作成した教材「森林官の仕事」の紹介（図－1）

教材は、「国有林について」「森林官の役割」「森林官の一年」で構成しています。（図－2, 3, 4）



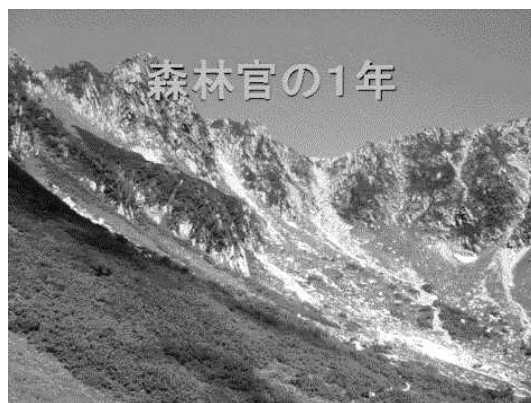
図－1



図－2



図－3



図－4

(1) 「国有林について」では、国有林、林野庁の組織や仕事や歴史についての予備知識が得られるように紹介しています。

ア 国有林とは何か (図-5)

イ 国有林の大部分を管理している林野庁とはどのような組織なのか (図-6)

ウ いつ、担当区事務所から森林事務所へ改称されたのか (図-7)

エ 日本に国有林野はどれくらいあるのか (図-8)

オ 中部地方(長野、富山、岐阜、愛知県)の国有林を管轄する中部森林管理局 (図-9)

カ 長野県南信地方を管轄する南信森林管理署について (図-10)

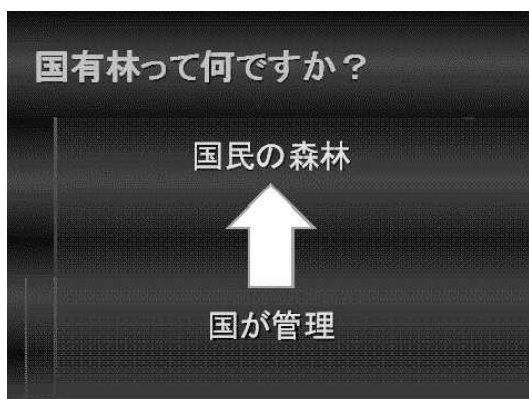


図-5



図-6

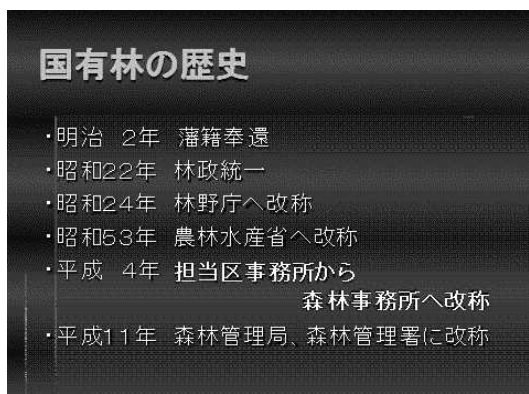


図-7

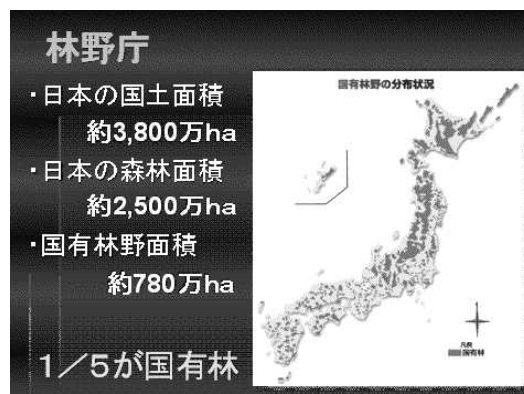


図-8



図-9



図-10

(2) 「森林官の役割」では、森林官の基本的な業務について紹介しています。

ア まず、森林官の服装や身の回り品、森林をイメージしたパトロール車について (図-11)  
 イ 次に森林官の役割を「国有林を守る」「国有林を育てる」「国有林を活用する」「地域とのふれあい」の4つに分け、それぞれの業務内容について紹介しています。(図-12)

- ① 国有林を守るでは、国民共有財産である国有林をニホンジカなどの生物被害、大雨などの気象被害から守るための林野巡視について (図-13)
- ② 国有林を育てるでは、人工林の育成方法や施業計画について (図-14)
- ③ 国有林を活用するでは、貸付や併用協定など国有林の活用について (図-15)
- ④ 地域とのふれあいでは、地域の学校や公民館などと連携した活動について (図-16)



図-11

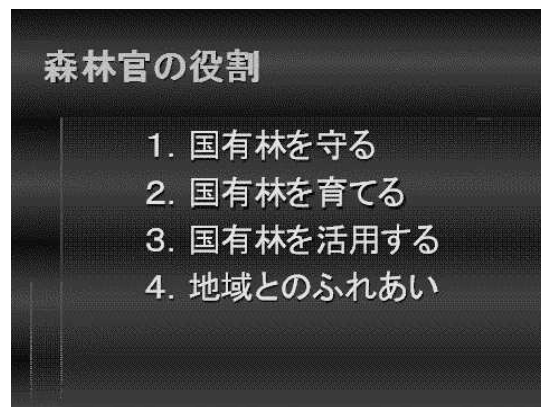


図-12



図-13

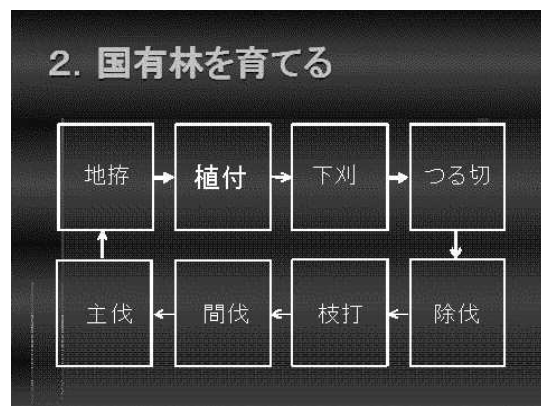


図-14



図-15

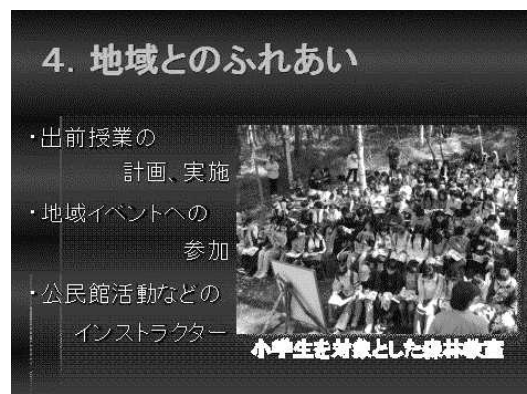


図-16

(3) 「森林官の一年」では、森林官の業務を月別に具体的に紹介しています。

ア 4月は業務予定の打ち合わせ、林野パトロール、安全祈願祭、山火事防止パレードなど

イ 10月は、来年度の計画、育樹祭、請負事業の検査、防護柵の点検修理など (図-17～24)



図-17



図-18



図-19



図-20



図-21



図-22



図-23



図-24

(4) 一般の人への教材の説明方法ですが、「講師用」と「受講者用」の資料を作成し、講師がスライド下の説明部分を読んで、受講者がスライド右の部分にメモを執る様式を使って行います。

スライド No.

### 森林官とパトロール車

身の回り品

- ・ヘルメット
- ・手袋
- ・銃、のこぎり
- ・地下足袋
- ・クマよけ鈴
- ・図面
- ・カメラ



頭の中で森林官を想像していただくため、まずはじめに森林官の普段の様子を説明します。森林官は、パトロール車と呼ばれる、緑の唐草模様の車に乗っています。一般の車では見られぬ丸型で犬吠目立ちます。森林管理署のマークとして、側面に文字が入っています。

森林官の服装ですが、これは業務服といわれる作業服です。森林官だけでなく、森林管理署の職員も着用しています。写真の森林官が着用しているのは、青茶の業務服です。別に女性用として、小さいサイズからの緑系の業務服もあります。正装として森林官用の制服もあります。地元の金銭などで着用することもありますが、あまり着用している森林官をたことがありません。

写真の森林官は、入山するときの服装をしています。頭にはヘルメットをかぶり、夏はハチマキの付録網(黒いネット)を付けています。夏には、腰と首との間からダニやヒルが入り込むことがあるため、首にタオルを巻き、他人を防ぎます。腰にはナタやノコギリ、鋸の斧又はハンコ、道具袋をぶら下げます。ナタやノコギリは、山を歩くと薪や枝を払った際の屑が落ちてきます。薪と出金わがいよう人間の存在をアピールするための鈴やラジオも付けます。道具袋には、目印にするためのテープや赤スプレー、メモ帳など森林官によって、その時々の仕事によって、様々な道具が入っています。手には手袋を着用します。素手で山を歩いていると、木の枝やササで切ったり、ナタなどの刃物を使うときに滑るからです。足には、スパイクつき地下足袋やスパイクつき長靴を履きます。写真ではわかりにくいと思いますが、地下足袋の上に膠当てを付けています。写真には載っていませんが、車から離れて山の奥に入るときは、さらにリュックに釣魚薬品や水筒など、マップケースに図面(地図)を入れて持って行きます。

講師用

スライド No.

### 南信森林管理署

- ・伊那谷の区域面積
- ・国有林野面積
- ・官行造林地面積

1/5が国有林



スライド No.



スライド No.

### 森林官とパトロール車

身の回り品

- ・ヘルメット
- ・手袋
- ・銃、のこぎり
- ・地下足袋
- ・クマよけ鈴
- ・図面
- ・カメラ



受講者用

おわりに

信州大学生を対象に作成した教材を使用して講義を行いました。感想を聞いたところ「内容が分かり易かった」「仕事を詳しく知ることができた」「大変見易かった」など好評を得ました。また、「将来、森林官になりたい」という学生もいました。

今回紹介した教材は、一般の人向けに作成しています。今後、受講者のレベルに合わせて教材を数種類作成する必要があると考えます。

出前授業の取り組みも始まったばかりで、問題も多く実施に至らないケースもありました。問題を解決していくことにより出前授業の開催数を増やし、作成した教材を使用してさらなる地域への国有林のPRに努めていきます。